

鳥取大学農学部生命環境農学科 食料生産システム管理学研究室



令和8年9月1日時点版

概要

鳥取大学農学部生命環境農学科食料生産システム管理学研究室は、野菜・花き種子輸出検疫の課題解決に向け登録検査機関に参入しました。種子伝染性細菌を中心とした種子検査や検査に関わるご相談に対応しています。

基本情報

検査の区分

- | | |
|--|-------------------------------|
| ☐ 栽培地検査 | ☐ 消毒検査 |
| ☒ 精密検査 | ☐ 目視検査 |

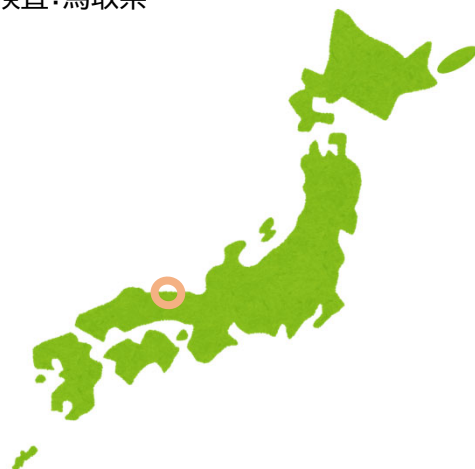
問い合わせ先

TEL : 0857-31-5345

Mail: ag-kaikeiOml.adm.tottori-u.ac.jp

検査を行う区域

精密検査: 鳥取県



--: 栽培地検査
--: 消毒検査
--: 精密検査
--: 目視検査

活用事例の概要

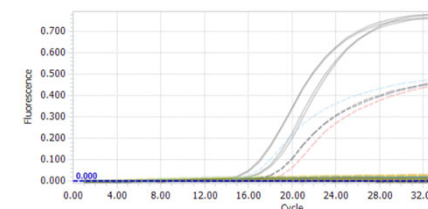
当校は、アブラナ科種子やトマト種子の種子伝染性細菌検査を主体として、ISTA法やISHI法に基づく種子検査を実施しています。ご依頼をいただいたお客様にわかりやすい報告をさせていただき、ご要望に応じて、検査に留まらず、様々な助言をさせていただきます。当校は、最新の検査器具を整え、輸出先の国が要望する検査に対応できるように努めています。

また、他の登録検査機関からの相談や検査に関する協力や助言もさせていただきます。

活用によるメリット

鳥取大学では、種子検査方法が確立されていない検査依頼についても、対応可能です。ただし、検査法を精査する検証期間が必要となるため検査結果の報告が遅れることもあることをご理解いただきたいと思います。

また、種子伝染性細菌に関する種子検査方法の研修も受け入れております。



リアルタイムPCRを用いた検査



分離菌の病原性検査